

対象者: 令和3年11月 対象者 21名 回収 11名

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	事業所より
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11			未記入 1	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	11			未記入 1	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	2		・実際に子ども達がいる様子を見ていない為わからない。 未記入 1	バリアフリー化にはなっていませんが、事故のリスクを減らすようにクッション材で保護したり、段差を解消したりと工夫をしている他、スタッフの配置に気を付けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よくごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	9	2		・実際に子ども達がいる様子を見ていない為わからない。 未記入 1	毎日清掃や消毒を実施している他、空気清浄機や冬季は加湿器を備えるなど配慮しています。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	11				
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11				
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11				
	8	活動プログラム*3が固定しないよう工夫しているか	10	1			
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	3	1		
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11				
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11				
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	9	3			コロナの影響もあり、実施には至っておりません。今後、開催していけるよう準備をすすめていきます。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況、課題について共通理解ができているか	11			・連絡ノートを毎回詳しく記入いただいています。 ・毎回お手紙で内容を知らせて頂いて感謝しています。送迎の際も。	お言葉、ありがとうございます。必要に応じて保育士や言語聴覚士から電話にてお子様の様子を伝えています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関わる助言等の支援が行われているか	10	1			
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	5	3	・コロナがあり仕方ないと思うが、他の保護者との情報交換もしたい。 ・特に必要ない。	コロナの影響もあり、実施には至っておりません。状況をみて開催していけるよう準備をすすめていきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11				
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11				
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	7	4			
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	11			・ここあーる大好きです。	何よりもの加みになります。今後とも安心して楽しく過ごせる環境での療育をすすめています。
満足度	23	事業所の支援に満足しているか	11			・いつもありがとうございます。送迎の際、児童が複数人いる時に車の中に放置せずに携帯電話で連絡しあい事故防止の徹底をしていただいて感謝しています。一瞬のことで事故や誘拐が発生する世の中なので今後も継続していただけると親として安心です。	ありがとうございます。スタッフみんなで知恵を出し合い、より良い療育を提供していけるよう務めていきたいと思えます。

(注釈)

\*1「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせる事が想定されています。

\*4「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。